

ご利用ガイド

第 1 章 導入の流れ

第 2 章 運用の流れ

第 3 章 メインメニューとダッシュボード

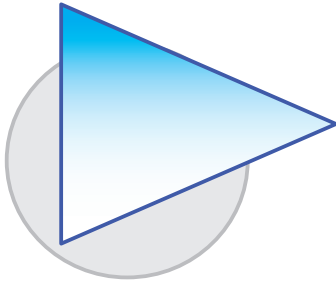
第 4 章 取引先

第 5 章 請求処理

第 6 章 入金

第 7 章 債権残高の確認

- 税制等の改正や操作上の改良のため、「[ご利用ガイド](#)」の表記と実際の画面・操作方法が異なる場合があります。この場合は、実際の画面・操作方法を優先させていただきます。
- 奉行クラウド、奉行クラウド Edge、勘定奉行、債権奉行、債務奉行は、株式会社オービック ビジネスコンサルタントの登録商標です。
- その他、記載されている会社名およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。



目次

第1章 導入の流れ

導入のイメージ	3 ページ
導入の流れ	5 ページ

第2章 運用の流れ

運用の流れ	13 ページ
-------------	--------

第3章 メインメニューとダッシュボード

メインメニューの使い方	14 ページ
ダッシュボードの使い方	15 ページ

第4章 取引先

請求先を登録する	16 ページ
----------------	--------

第5章 請求処理

債権伝票を起票する	18 ページ
請求締めをする	23 ページ

第6章 入金

入金情報を登録する	24 ページ
入金消込をする	25 ページ

第 7 章 債権残高の確認

請求先の元帳を確認する	26 ページ
債権残高を確認する	27 ページ
回収予定を確認する	27 ページ

第1章

導入の流れ

『債権奉行クラウド』で取引を入力する前までに、あらかじめ登録しておく導入の流れを確認しましょう。

導入のイメージ

『債権奉行クラウド』をはじめて起動すると、以下の画面が表示されます。

(上記の画面は、後で [法人情報]-[法人情報]-[法人情報]メニューから確認・変更できます。)

初期値設定について

はじめて起動したときにだけ、初期値を選択できます。「建設業会計の設定に更新する」を選択すると、初期登録されている科目名を建設業会計用の名称に変更したり、プロジェクトマスターの名称を「工事」に変更できます。



② 設定や確認が完了したらチェックを付けます。チェックを付けると、画面右上の導入状況の進捗が進みます。

『奉行 11/10』からデータをコンバートして設定が完了している箇所は、チェックが付いています。

① クリックすると、設定メニューが起動します。

③ 画面にしたがって導入し、チェックしていきます。チェック項目（導入項目）は、5～12ページ参照



途中で導入時の確認・設定を終了した場合は、
ダッシュボードの「導入状況」から続きを再開できます。

利用状況	件数
新規登録	0件
更新	1件
削除	0件

公開日	カテゴリ	タイトル
2019年 4月10日	お知らせ	本誌 「よくあるお問い合わせ」(FAQ) 1 公開
2019年 3月28日	お知らせ	本誌 4月号:「よくあるお問い合わせ」の掲載
2019年 3月27日	アップデート	本誌 販売開始
2019年 2月26日	アップデート	本誌 2019年 3月号(11月号) 掲載予定決定
2019年 2月 9日	お知らせ	本誌 「members 1.0」リリース 100% (Subscriber 2018 Update) へ対応

導入の流れ

■ 導入状況画面の導入項目

① 法人情報を設定する

[法人情報] メニュー

法人番号や法人名、住所や代表者名などを設定します。




② 差出名を設定する

[差出名] メニュー

債権残高確認書などに印字する自社の名称や住所を設定します。



③ 桁数などを確認する

メインメニュー右上の  アイコンの
[運用設定] メニュー

必要に応じて、「部門」や「取引先」など使用するマスターの名称や桁数などを変更します。



④ 債権管理規程を設定する

[債権管理規程] メニュー

自社の経理規程にしたがって、伝票 No. や請求 No. の付番方法や、調整科目などを設定します。



⑤ 債権管理科目を登録する

[債権管理科目] メニュー

- 債権管理科目
あらかじめ登録されている債権管理科目を
経理規程と照らしあわせ、必要に応じて
変更します。
- 債権管理補助科目
債権管理科目の内訳として補助科目を
登録できます。

[債権管理補助科目] メニュー



⑥ 債権取引を登録する

[債権取引] メニュー

経理規程にしたがって、債権伝票で使用する
売上科目と債権科目の組み合わせを、債権取引
として登録します。



⑦ 回収方法を登録する

[回収方法] メニュー

経理規程にしたがって、債権の回収方法ごとに、
入金伝票で使用する科目を登録します。



⑧ 消込差額調整方法を登録する

[消込差額調整方法] メニュー

入金消込で、回収予定と入金情報に差額がある
場合に、振込手数料や消費税違算として自動で
計上する金額を登録します。



⑨ 月次集計期間を登録する

[月次集計期間] メニュー



⑩ 部門を登録する

[部門] メニュー

あらかじめ1日～末日で集計するパターンが登録されています。
請求先の締日などに応じて、集計期間のパターンを複数登録できます。

● 部門

部門を登録すると、管理帳票を支店や事業所ごとに集計できます。

[部門グループ] メニュー

B システム

S システム

奉行 V ERP

● 部門グループ

複数の部門を部門グループにまとめることで、部門グループで絞り込んで帳票を確認できます。



⑪ プロジェクトを登録する

[プロジェクト] メニュー

● プロジェクト

プロジェクトを登録すると、管理帳票をプロジェクト別に集計できます。

[プロジェクト区分] メニュー

● プロジェクト区分

プロジェクト区分でプロジェクトを分けると、管理帳票をプロジェクト区別に集計できます。

[工程 / 工種] メニュー

● 工程 / 工種

プロジェクトの作業内訳として工程 / 工種を登録すると、管理帳票を工程 / 工種別に集計できます。



⑫ 担当者を登録する

[担当者] メニュー

[担当者区分] メニュー



⑬ 摘要を登録する

[摘要] メニュー



⑭ 任意項目を登録する

[任意項目] メニュー



⑮ 取引銀行の法人口座を登録する

[法人口座] メニュー



● 担当者

自社の担当者を登録します。担当者を登録すると、管理帳票を担当者別に集計できます。

● 担当者区分

担当者区分で担当者を分けると、管理帳票を担当者区分別に集計できます。

伝票入力時に頻繁に入力する摘要を登録します。

商品名など、債権伝票の明細に入力する任意項目を登録します。

登録すると、入金消込や請求先元帳で集計できます。

債権の回収に使用する入金口座など、自社の口座の情報を登録します。

⑩ 請求先を登録する

[請求先] メニュー

● 請求先

請求先名や住所、回収条件など請求先の情報を登録します。

[請求先区分] メニュー

● 請求先区分

請求先区分で請求先を分けると、管理帳票を請求先区分別に集計できます。

[請求締日] メニュー

● 請求締日

あらかじめ登録されている請求締日を確認し、必要に応じて変更します。

メニュー名が以下のとおりになります。

S システム

奉行V ERP

[請求先] メニュー → [得意先] メニュー

[請求先区分] メニュー → [得意先区分] メニュー



⑪ 取引先グループを登録する

[取引先グループ] メニュー

複数の請求先をまとめて取引先グループとして登録します。

取引先グループを登録すると、請求書の送付先と異なる入金先からの入金などを管理できます。



⑫ 直送先を登録する

[直送先] メニュー

得意先とは異なる納品先に商品を発送する場合に登録します。

S システム

奉行V ERP



⑱ 商品を登録する

[商品] メニュー

**⑳ 価格を登録する**

[価格] メニュー

**㉑ 統一伝票価格表を登録する**

[統一伝票価格表] メニュー

**㉒ 債権伝票に引き継ぐ商品の情報を登録する**

[債権連携] メニュー



商品名や単位、単価などを登録します。

任意の計算式で金額や数量を計算する場合に、計算式を登録します。

統一伝票に出力する売単価を登録します。

債権伝票に引き継ぐ、売上傳票の商品情報を、商品ごとに関連付けて登録します。

②③ 開始残高を登録する

- [債権残高] メニュー
- [前受金残高] メニュー
- [仮受金残高] メニュー

『債権奉行クラウド』の運用開始時点の債権残高・前受金残高・仮受金残高を登録します。



【『勘定奉行クラウド』と連携する場合】

②④ 仕訳伝票コードを設定する

- [仕訳伝票コード設定] メニュー

仕訳伝票で使用する勘定科目や取引先などについて、『債権奉行クラウド』のマスターと『勘定奉行クラウド』のマスターの関連付けを設定します。

『勘定奉行クラウド』のマスター連携機能について


『勘定奉行クラウド』の [運用設定] メニューでマスター連携の機能を有効にすると、『債権奉行クラウド』で登録した請求先が『勘定奉行クラウド』の取引先としても登録され、自動で関連付けが設定されます。

詳細は、『勘定奉行クラウド』のヘルプ「マスター連携とは」をご参照ください。

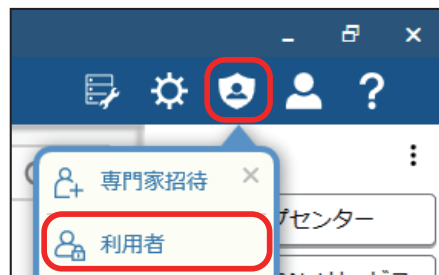


【複数の利用者と利用する場合】


②⑤ 利用者を追加する

メインメニュー右上の  アイコンの
[利用者] メニュー

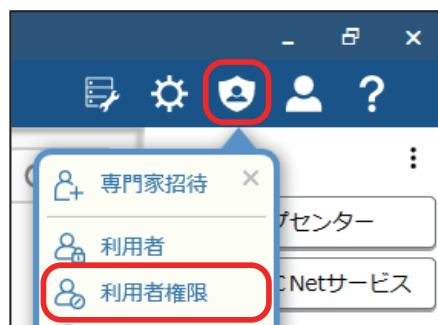
『債権奉行クラウド』を利用する他の利用者を追加します。
(利用者の追加には、別途ライセンスが必要です。)



②⑥ 権限を設定する

メインメニュー右上の  アイコンの
[利用者権限] メニュー

利用者によって入力・参照できる部門を制限する場合は、権限を設定します。



【専門家とデータを共有する場合】



[専門家招待] メニューから専門家を招待することで、専門家と一緒に『債権奉行クラウド』を利用でき、『債権奉行クラウド』のデータを共有できます。
手順の詳細は、ヘルプの「専門家招待」をご参照ください。

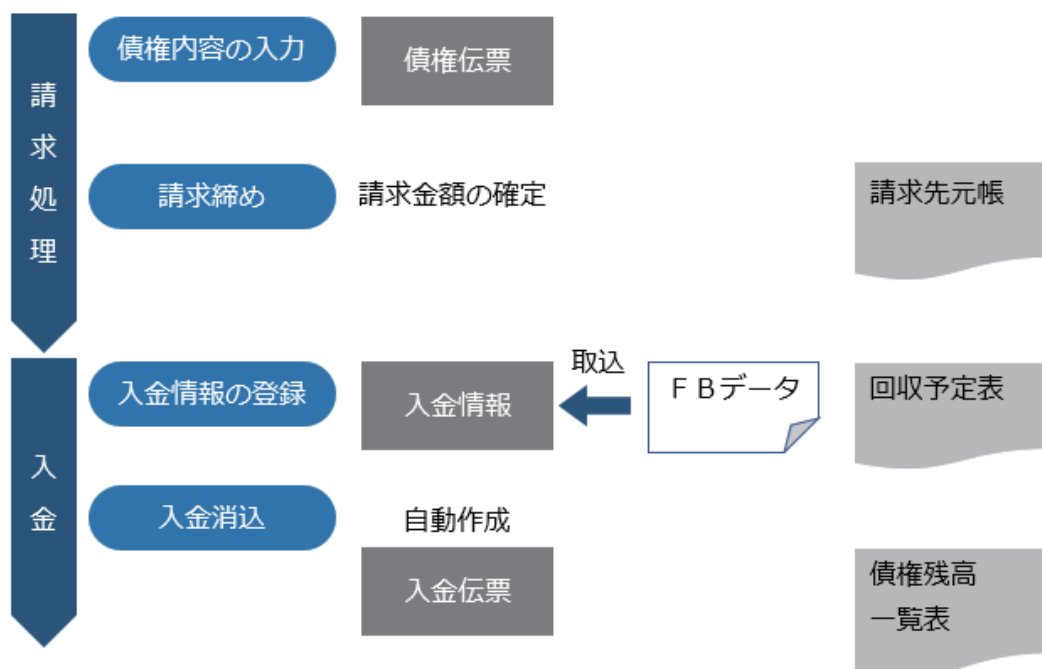
(あらかじめ「専門家ライセンス」のユーザー登録とライセンスキーの発行を済ませておいてください。)



運用の流れ

導入後の運用の流れを確認しましょう。

運用の流れ

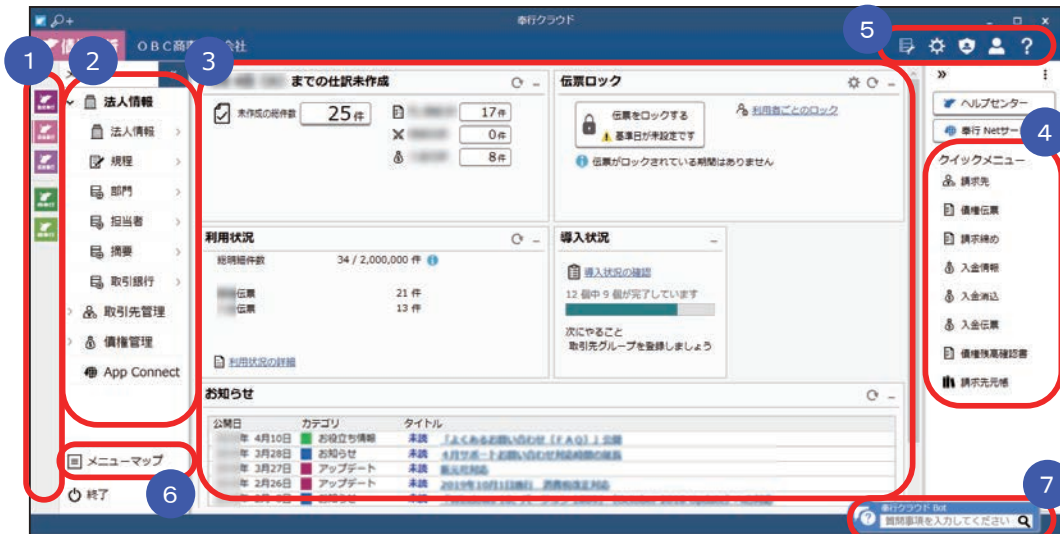



第3章

メインメニューとダッシュボード

メインメニューとダッシュボードの使い方を確認しましょう。

メインメニューの使い方



- 1 複数の『奉行クラウド』をお使いの場合は、ここでサービスを切り替えます。
- 2 すべてのメニューはここから起動します。
- 3 「ダッシュボード」で業務に関する情報をすぐに確認できます。
内容は次ページをご参照ください。
- 4 よく使うメニューをピン留めしておくと、ここからすぐにメニューを開けます。
メニュー名の後ろの  からピン留めします。

商品	総明細件数
1. 商品	 クイックメニューにピン留めする

- 5 汎用データの作成や受入、運用の設定やセキュリティの設定をします。
- 6 すべてのメニューを一覧で確認できます。Excel にも出力できます。
- 7 『奉行クラウド』に関する質問キーワードを入力すると、関連する回答が記載されたヘルプのリンクが表示されます。

ダッシュボードの使い方

弊社からの「お知らせ」や「導入状況」など、業務に関する情報が確認できます。また、本日までの伝票で仕訳伝票が未作成の伝票がある場合は、この画面からスムーズに起票作業へ進めます。

詳細については、ヘルプの「ダッシュボードの使い方」をご参照ください。

The screenshot shows a dashboard with five main sections, each highlighted with a red border and a blue circle containing a number:

- 1. 9月30日（金）までの仕訳未作成**: Shows a summary of uncreated vouchers for the current day. It includes a checked box for '未作成の総件数' (Total uncreated) with a value of 12, and three rows for different voucher types: 伝票 (6件), 伝票 (1件), and 伝票 (5件).
- 2. 伝票ロック**: Shows the '伝票をロックする' (Lock vouchers) section with a date range from ~ to 4月30日. It also includes a link for '利用者ごとのロック' (Lock by user) and a note that '伝票がロックされている期間はありません' (There is no period during which vouchers are locked).
- 3. 利用状況**: Shows the '総明細件数' (Total detail count) as 17 / 400,000 件. It includes a bar chart for '伝票' (6) and '伝票' (7) and a link for '利用状況の詳細' (Details of usage status).
- 4. 導入状況**: Shows the '導入状況の確認' (Check import status) section with a progress bar indicating '17 個中 15 個が完了しています' (15 of 17 items are completed). It includes a note to '次にやること' (Next steps) and '利用者を追加しましょう' (Add users).
- 5. お知らせ**: A table of notices with columns for '公開日' (Release date), 'カテゴリ' (Category), and 'タイトル' (Title). The table lists several notices from 2019, including 'お役立ち情報' (Helpful information), 'お知らせ' (Notice), 'アップデート' (Update), and 'お知らせ' (Notice).

1 本日までの仕訳未作成

本日までの伝票で仕訳伝票が未作成の伝票があるかを一目で確認できます。「未作成の総件数」をクリックすると、仕訳伝票をまとめて作成できます。

2 伝票ロック

伝票を登録、修正、削除できないように、ロックをかけます。

3 利用状況

伝票やマスターの登録件数を確認できます。

4 導入状況

運用前の設定がどこまで完了しているか、進捗が一目で把握できます。「導入状況の確認」をクリックすると、他にどんな設定が必要か、設定の流れが確認できます。

5 お知らせ

サービスのアップデート情報や弊社からの時事情報など、旬な情報を確認できます。

第4章

取引先

請求先の住所や、回収予定（回収予定日と回収方法）などを設定します。

請求先を登録する

[取引先管理]-[請求先]-[請求先]メニュー

請求先との様々な取引形態に応じて登録できます。

例えば、[請求]ページでは、回収予定について以下の設定ができます。

取引の都度請求するか、一定期間で締めて請求するかなどを設定できます。

条件	基準額/分割/端数処理	金額で分割	回収サイト1	回収予定確定単位	回収サイト2
1	0 以上の条件	2	1000 現金	1 前営業日	000 自社休日
2	100,000 以上の条件	0	0 月日指定	1 翌月 99 月末	2000 銀行振込(三費U) 1 前営業日
3	0 以上の条件	0	2004 銀行振込(みずほ)	1 前営業日	000 自社休日

請求金額ごとに、異なる回収予定を設定できます。また、請求金額を分割して、分割した金額ごとに回収予定を設定できます。

[請求先]メニューでは、以下のような請求先も設定できます。

- 一時的に取引する請求先がある場合は、「スポット請求先」として登録できます。
一時的な取引が発生した際に、伝票で「スポット請求先」を入力し、請求先名を都度変更して利用すると便利です。
- 複数の請求先をまとめて請求したり、まとめて入金される場合は、請求先に「取引先コード」を設定します。
[取引先グループ]メニューで、「取引先コード」を指定して取引先グループを登録します。

- 得意先・請求先の登録

[取引先管理]-[請求先]-[請求先]メニューは
[取引先管理]-[得意先]-[得意先]メニューと表示されます。

取引している得意先と請求先が異なる場合（得意先は支店で、請求先は本店など）は、得意先に請求先を設定します。

- 商品の登録

[商品管理]-[商品]-[商品]メニューで登録します。

統一伝票を発行する場合は、[商品管理]-[統一伝票]-[統一伝票規格]メニューで統一伝票に出力する取引先コード・店コード・売単価を登録します。

詳細は、ヘルプの「目的から探す」の「統一伝票を発行する」をご参照ください。

第5章

請求処理

債権伝票を起票し、債権を計上します。
また、請求締めを行います。

債権伝票を起票する

[債権管理]-[請求処理]-[債権伝票]メニュー

債権の内容を伝票形式で入力します。

種別、債権取引、売上額を入力します。
科目や債権額は、自動で表示されます。

都度請求の場合は、[回収予定]を押すと、回収予定を確認できます。
今回の取引だけスポット的に回収予定を変更することもできます。



明細欄にカーソルが入っている状態で [回収予定] を押します。

<伝票の入力に関する便利な機能>

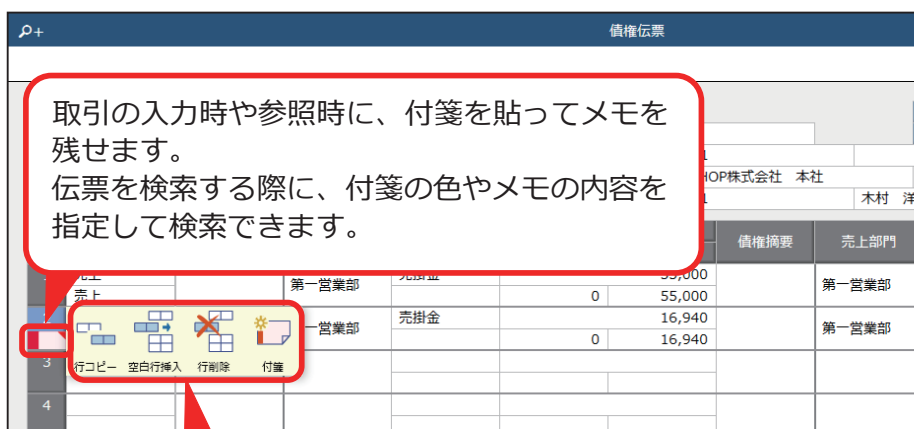
●各入力項目の指定方法

各入力欄で [Space] キーを押して検索画面を表示する以外に、直接文字を入力して検索することもできます。
項目の名称がわかっている場合に便利です。



●明細入力時の補助機能

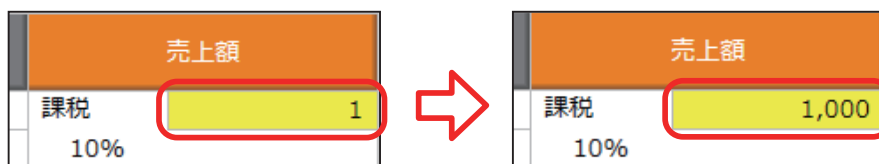
取引の入力時や参照時に、付箋を貼ってメモを残せます。
伝票を検索する際に、付箋の色やメモの内容を指定して検索できます。



行番号をマウスでクリックすると、行コピー、空白行挿入、行削除などがスムーズにできます。

●金額「000」を入力する

金額入力欄で [/] キーまたは [,] キーを入力すると、「000」が入力されます。



<伝票のチェック機能>

Bシステム

Sシステム

奉行V ERP

[請求先] メニューで請求先ごとに与信限度額を設定し、与信限度額を超えていないかをチェックできます。該当した場合は、警告を表示するか、伝票を登録できないように設定できます。

債権管理規程

債権管理
消費税

入金調整 3
科目
部門 固定

入金調整 4
科目
部門 固定

入金調整 5
科目
部門 固定

入金調整 6
科目
部門

請求締切
 請求締切の日の前日までの請求が、伝票で承認される
 請求単位と回収予定確定単位が「債権伝票」の伝票で許可する

与信限度額チェック ⓘ
債権伝票 登録を禁止する

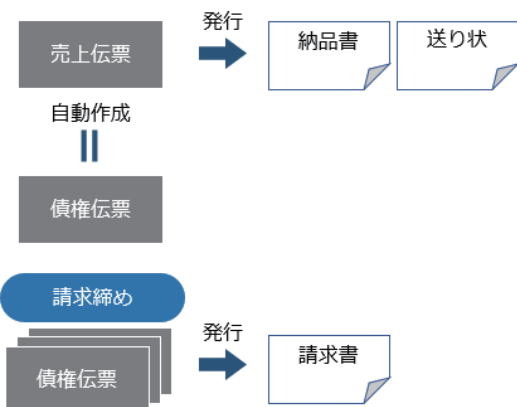
[債権管理規程] メニューで
与信限度額チェックについて設定します。

<納品書・請求書を発行する場合>

S システム

奉行V ERP

売上傳票を起票して債権を計上します。
伝票区分が「債権計上」の売上傳票を登録すると、売上内容にもとづく債権情報が、債権伝票として自動で作成されます。



 奉行Edge 発行請求書DXクラウド

『奉行 Edge 発行請求書 DX クラウド』

弊社の『奉行 Edge 発行請求書 DX クラウド』をご契約いただくことで、請求書や納品書の PDF を作成し、得意先にメールで配信できます。帳票のデジタル化と帳票配信の自動化で、発行業務の手間を減らせます。詳しくは、<https://www.obc.co.jp/bugyo-edge/invoice>

< 『勘定奉行クラウド』 をご利用の場合 >

- 『債権奉行クラウド』 で登録した債権伝票と入金伝票をもとに仕訳伝票を作成し、『勘定奉行クラウド』 で起票できます。



詳細は、ヘルプの「目的から探す」の「仕訳伝票の作成」をご参照ください。

- 『勘定奉行クラウド』 から売掛金や未収入金などの科目が計上されている仕訳明細を抽出して債権伝票を登録できます。

[債権仕訳抽出] メニューまたは [債権伝票] メニューで、『勘定奉行クラウド』 の仕訳明細（売掛金・未収入金など）を抽出します。

The screenshot shows a table with columns for '対象' (Target), '仕訳伝票日付' (Journal Entry Date), '仕訳伝票No.' (Journal Entry No.), '取引先' (Counterparty), '金額' (Amount), '請求日付' (Request Date), '請求コード' (Request Code), '請求先名' (Request Name), '請求先' (Request), '種別' (Type), '債権取引' (Debt Transaction), and '債権科目' (Debt Account). The table contains several rows of data, with a red box highlighting the first few rows.

対象	仕訳伝票日付	仕訳伝票No.	取引先	金額	請求日付	請求コード	請求先名	請求先	種別	債権取引	債権科目
✓	平成 年 4月 1日	000009	株式会社	272,160	平成 年 4月 1日	0101	株式会社五	株式会社五	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 3日	000010	八王子	108,000	平成 年 4月 3日	0112	八王子衣料	八王子衣料	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 8日	000007	八王子	179,280	平成 年 4月 8日	0112	八王子衣料	八王子衣料	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 14日	000008	新簿物	43,545	平成 年 4月 14日	0102	新簿物屋	新簿物屋	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 17日	000011	川崎	50,760	平成 年 4月 17日	0104	川崎商会	川崎商会	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 25日	000002	株式会社	21,600	平成 年 4月 25日	0101	株式会社五	株式会社五	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 25日	000003	名古屋	496,000	平成 年 4月 25日	0105	名古屋興業	名古屋興業	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 25日	000006	川崎	453,600	平成 年 4月 25日	0104	川崎商会	川崎商会	0	売上	売掛金
✓	平成 年 4月 20日	000005	その他	851,040	平成 年 4月 20日	0000	その他	その他	0	売上	売掛金



取引先の回収条件をもとに、回収予定が作成されます。

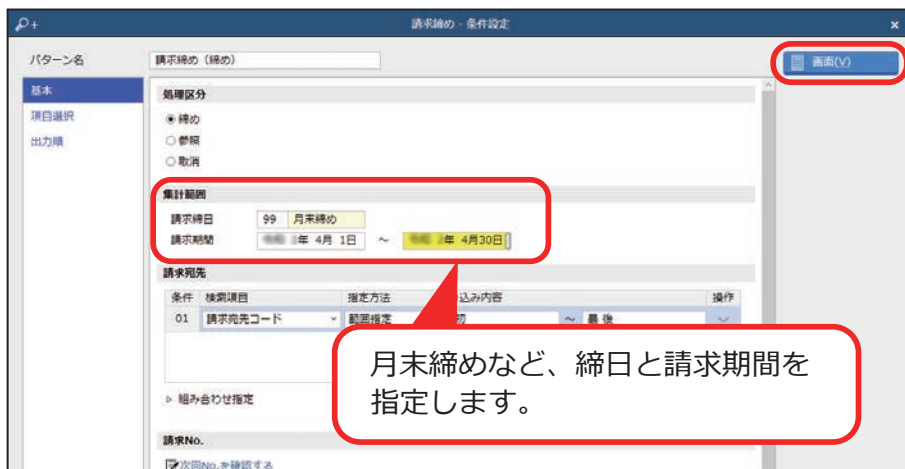
< 『債務奉行クラウド』 をご利用の場合 >

[債権管理] - [ネットティング] - [相殺消込] メニューで、未支払の債務と未回収の債権を相殺して消込できます。

請求締めをする

[債権管理]-[請求処理]-[請求締め]メニュー

締め請求をする場合は、請求締めを行い、請求金額を確定します。



第6章

入金

入金された債権を消し込み、入金伝票を起票します。

入金情報を登録する

[債権管理]-[入金処理]-[入金情報]-[銀行入金明細]メニュー

銀行から取得した入金データのファイル（FBデータ）を取り込み、入金情報を登録します。

入金日付	入金額	法人口座	振込依頼人名	振込依頼人コード	入金先
年 4月 5日	100,000	三菱UFJ 丸の内支店	タケノコパティ(加)	1190030016	0001 ● 太平洋食品株式会社
年 4月 5日	5,070,481	三菱UFJ 丸の内支店	カワサキ(加)	1190030017	0002 ● 株式会社岩手産業
年 4月 5日	981,235	三菱UFJ 丸の内支店	カワサキ(加)	1190030018	0003 ● 株式会社茨城電機
年 4月 5日	1,338,742	三菱UFJ 丸の内支店	ケイエス(加)	1190030019	0004 ● 群馬事務機株式会社
年 4月 5日	4,240,942	三菱UFJ 丸の内支店	サカイ(加)	1190030020	0005 ● 埼玉商事株式会社
年 4月 5日	6,925,372	三菱UFJ 丸の内支店	カワサキ(加)	1190030021	0006 ● 株式会社千葉デンキ
				0022	0007 ● 東京事務機販売株式会社
				0023	0008 ● 神奈川物産株式会社
					0009 ● 新潟工業株式会社
計	26,837,873				

＜電子記録債権・ファクタリング債権・受取手形・期日入金のてん末管理をする場合＞

[電子記録債権]・[ファクタリング債権]・[受取手形]・[期日入金]メニューでデータを登録すると、入金情報が自動で作成されます。入金情報をもとに入金伝票を作成すると、てん末管理などができます。

詳細は、ヘルプの「目的から探す」の「電子記録債権・ファクタリング債権・受取手形・期日入金」をご参照ください。

入金消込をする

[債権管理]-[入金処理]-[入金消込]メニュー

未回収の債権を集計し、入金された債権を消し込みます。

回収予定ごとに消込する場合は、回収予定額と入金情報の差額を振込手数料や消費税違算として自動計上できます。

入金消込 - 条件設定

パターン名: 入金消込 (消込) 個人利用

基本

集計条件

利用情報

項目選択

出力順

処理区分

- 消込
- 参照
- 取消
- 対象外

入金伝票作成単位

- 入金情報
- 非連結
- 回収予定
- 債権伝票
- 前受金

画面(V)



消込対象にチェックを付けると、
入金情報が自動で選択されます。

入金消込 (消込)

O B C 商事株式会社

回収予定	請求元先	回収予定日	回収方法	入金情報	入金日付	回収方法	法人口座	消込額	充当額	振込手数料	消費税違算
<input checked="" type="checkbox"/>	太平洋食品株	年 5月31日	振込[名古]	No.000003	年 5月3	年 5月31日	振込[名古]	110,000	0	330	5
<input checked="" type="checkbox"/>	株式会社岩手	年 5月31日	振込[名古]	No.000005	年 5月3	年 5月31日	振込[名古]	93,500	0	330	2
<input checked="" type="checkbox"/>	株式会社茨城	年 5月31日	振込[三井]	No.000006	年 5月3	年 5月31日	振込[三井]	330,000	0	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	群馬県産物株	年 5月31日	振込[名古]	No.000015	年 5月3	年 5月31日	振込[名古]	220,000	0	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	埼玉商産株	年 5月31日	振込[三井]	No.000022	年 5月3	年 5月31日	振込[三井]	341,000	0	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川物産株	年 5月31日	振込[名古]	No.000018	年 5月3	年 5月31日	振込[名古]	165,000	0	330	5
<input checked="" type="checkbox"/>	新潟工業株	年 5月31日	振込[三井]	No.000010	年 5月3	年 5月31日	振込[三井]	137,500	0	330	0
<input checked="" type="checkbox"/>	T-SHOP株式	年 5月31日	振込[名古]	No.000011	年 5月3	年 5月31日	振込[名古]	297,000	0	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	株式会社埼玉	年 5月31日	振込[三井]	No.000023	年 5月3	年 5月31日	振込[三井]	110,000	0	330	5
計	9件										

[F1] ヘルプ [F2] 実行 [F3] 全選択 [F4] 充当明細 [F5] 債権伝票

差額は、振込手数料や消費税違算として
自動で計上できます。

[実行] を押すと、
入金伝票が起票されます。

第7章

債権残高の確認

債権残高や回収予定を確認します。

請求先の元帳を確認する

[債権管理]-[管理帳票]-[請求先元帳]メニュー

売上内容ごとに入金状況を確認します。

Excelへのファイル出力や印刷、PDFでの出力ができます。

伝票日付	伝票No.	種別	任意項目	債権/入金科目	債権額	売上額	入金額
年 4月20日	000012	売上	プリントTシャツ(綿)	売掛金	17,600	16,000	入金済
年 4月20日	000012	売上	インポートTシャツ(綿)	売掛金	330,000	300,000	入金済
年 4月23日	000007	即時売上	振込[みずほ]	債権調整額	347,600	347,600	0
年 4月23日	000013	債権回収	振込[みずほ]	債権調整額			
年 4月30日	000013	売上	プリントTシャツ(綿)	売掛金	17,600	16,000	未入金

伝票をダブルクリック、または[伝票]を押すと、債権伝票や入金伝票へジャンプできます。

請求先元帳のフォームを編集できます。

ここから編集画面を開くことができます。



編集画面では、マスターや金額合計などの項目を自由に配置できます。

債権残高を確認する

[債権管理]-[管理帳票]-[債権残高一覧表]メニュー

請求先ごとの債権残高を一覧で確認します。

請求先	繰越残高	回収済額	債権額	債権残高
【合計】	3,064,138	3,185,698	2,563,492	2,441,932
0001 太平洋食品株式会社	613,440	610,000	85,056	88,496
0002 株式会社岩手産業	155,000	1,000,000	1,085,700	240,700
0003 株式会社茨城電機	78,498	78,498	85,056	85,056
0005 埼玉商事株式会社	1,377,200	377,200	575,300	1,575,300
0010 石川食品株式会社	100,000	100,000	105,380	105,380
0023 千葉フラワー株式会社	440,000	220,000	0	220,000
0025 T-SHOP株式会社	300,000	800,000	627,000	127,000

回収予定を確認する

[債権管理]-[管理帳票]-[回収予定表]メニュー

回収予定日や請求先、回収方法など、任意の集計単位で回収予定を確認します。

回収予定日	債権額	回収済額	回収予定額
【合計】	1,083,200	620,000	463,200
年 4月 30日	195,000	195,000	0
年 5月 31日	661,000	215,000	446,000
年 6月 29日	16,200	0	16,200
年 6月 30日			

請求先	債権額	回収済額	回収予定額
【合計】	573,200	110,000	463,200
0002 株式会社岩手産業	16,200	0	16,200
0003 株式会社茨城電機	222,000	100,000	122,000
0004 群馬事務機株式会社	129,600	0	129,600
0010 石川販売株式会社	108,200	10,000	98,200
0023 T-SHOP株式会社	97,200	0	97,200

— 禁無断転載 —

2024年 10月 11日 第18版

著者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ
発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

<https://www.obc.co.jp>

